

平成 26 年度 事業報告書

I 概 要

「高岡市総合計画第2次基本計画」では、重点的な取組として「高岡新世紀創造プロジェクト」を掲げ、その取組む5つのテーマの一つ「歴史・文化」において、「生涯学習体制の充実と新たな文化創造」を掲げている。

これを踏まえ、当事業団では地域に根ざした芸術・文化活動の育成に向けて各種事業実施に取り組んだ。各文化施設等が市民に有効に活用されるよう、事業団独自のノウハウやネットワークを活かし、利用者ニーズに沿った施設管理と事業展開に努め、高岡市の芸術文化の振興に貢献した。

○ 文化施設等の適正な管理と利用の促進

平成26年度は、第3次指定管理者期間(平成24年度～28年度)の3年目であり、8施設の管理運営を行った。利用者に安全・快適に施設を利用していただけるよう、施設管理に万全を期すとともに、利用者のニーズに沿った水準の高いサービスを提供し、施設の利用促進を図った。

○ 文化振興事業の展開

市の文化振興施策の方向を踏まえ、質の高い舞台芸術の創造事業や市民の芸術文化への関心を高める事業、市民ニーズに応える事業などを展開している

万葉歴史館では、春に「日本最初の万葉故地写真—辰巳利文・小川晴暘『大和万葉古蹟写真』」を、秋に「万葉のふるさと高岡」の担い手の一人である玉井晶夫氏の「光覚越中万葉—万葉集の風光を描く—」を開催した。

美術館では、開館20周年記念として、6月から8月に「メタルズ!—変容する金属の美—」展、9月から10月に「江戸の劇画家 歌川国芳の世界」展を開催した。また、12月から1月には従来の展覧会を再編・統合して「第1回クリエイティブ・たかおか～未来に輝く高岡市児童生徒作品展～」を開催した。

博物館では、7月末から10月に「夢はこぶ“かがやき”—軌道117年のあゆみ—」を開催した。平成25年度から進めていた「佐渡家資料調査事業」では、高岡の町医「佐渡家」に伝わる3700点の資料概要調査を終了し目録を作成した。

高岡市民会館では、2カ年事業の集大成となる「キッズ・パフォーマンス TAKAOKA」を開催した。「ラ・フォル・ジュルネ音楽祭」、「歌曲とオペラ・アリアの夕べ」、「オーケストラ・アンサンブル金沢高岡定期公演」では、ソリストに富山県出身の音楽家たちを迎え、また3月には北陸新幹線開業を祝う「第3回みんなで歌おう高岡第九」公演を開催し多くの来場者に感動を与えた。

カメラ館では、春に鉄道写真家「中井精也展」を、夏に「篠山紀信展」と大規模写真展を開催し多くの来場者を得た。「亀山亮・田附勝展」で新進気鋭の作家を紹介するとともに、新たな試みとしてAAA(トリプルエー)と銘打ち、県内の写真家に発表の場の提供を始めた。

Ⅱ 各施設の事業内容

1 文化振興事業

事務局では、「第44回高岡市芸術祭」（期間：11月1日から9日まで）を高岡市芸術文化団体協議会（邦楽、洋楽、華道、茶道）及び高岡市美術作家連盟との協働により開催した。また自主事業活動として市内小学校へのアウトリーチ活動「出張公演・出前講座」を年間20回開催した。

2 万葉歴史館事業

企画展は、前年度に引き続き「越中国と万葉集」を実施している。

春の特別企画展は、「日本最初の万葉故地写真—辰巳利文・小川晴暘『大和万葉古蹟写真』」と題し、万葉研究者辰巳利文と写真家小川晴暘が撮影した日本最初の万葉故地写真を紹介した。秋の特別企画展は「光覚越中万葉—万葉集の風光を描く—」と題し、「万葉のふるさと高岡」の担い手の一人である玉井晶夫氏の芸術家の部分をクローズアップして作品を紹介した。

学習講座は、「万葉集をよむ」・「『日めくり万葉集』を読む」・「大伴家持とともに」・「古代への招待」・「はじめての万葉集」を継続開催した。平成26年度は「越中万葉故地めぐり」、「越中万葉ウォーク」を開講し、臨地研修型の学習講座内容を充実させ、これにより、従前とは異なる来館者の獲得を図っている。また、富山大学での館長や研究員による万葉に関する講義、学校移動展示「越中万葉パビリオン」及び越中万葉移動展示等を継続することで、広い世代に越中万葉に親しんでもらうことができた。

出版事業では、万葉歴史館の研究成果を紹介する「高岡市万葉歴史館紀要」第25号、同叢書27「万葉の愛」を出版した。また、高岡市万葉歴史館論集については、24年度から、より一般読者向けのを別冊として出版しており、平成26年度は越中万葉ゆかりの地をめぐるための情報本として「越中万葉をあるく」を出版した。

来館者に対しては、わかりやすく万葉の世界を伝え館内を案内するための説明員「和草^{にこぐさ}」とともに、研究員自らも、学校からの団体客を中心に、万葉衣装を身につけての案内を実施しており、さらなる来館者増加を目指している。

○万葉歴史館収蔵庫増築工事（完工：平成27年3月13日）

3 美術館事業

美術館では、郷土の美術・工芸の研究成果を基に、収集・保存・展示・教育普及活動を行っている。

平成26年度は、開館20周年記念として、6月から8月に「メタルズ！—変容する金属の美—」展を開催。国宝・重要文化財など、さまざまな金属工芸作品、金属造形作品を、輝き・彩り・音など、金属の持つ特性や、道具・装飾などの機能性に着目して展示し、高く評価された。本展は、一般財団法人地域創造の助成を得て実現したもので、当館が企画し全国3館を巡回した。

9月から10月には「江戸の劇画家 歌川国芳の世界」展を開催した。チューリッ

テレビとの連携により活発な広報活動を展開し、「奇想の絵師」として光彩を放った、幕末の浮世絵師・歌川国芳の魅力を紹介した。

12月から1月には「第1回クリエイティブ・たかおか～未来に輝く 高岡市児童生徒作品展～」を新たに開催した。昨年まで開催していたジュニア☆アート☆ワールドと「ものづくり・デザイン科」作品展を再編・統合したもので、小中学生の成果発表の場とするだけでなく、高校や大学、作家や職人の作品も展示して地域の美術工芸教育の現況を見せる総合的な展覧会となった。

恒例の展覧会として開催している「高岡市民美術展」「日本伝統工芸富山展」についても、幅広い層から多くの出品を受け、それぞれの日々の研鑽の成果を発表する場として好評を得た。

コレクション展においては、「ものづくり・デザイン科」に学ぶ児童・生徒たちへの教育普及に資する展覧会を開催した。また、子どものための美術鑑賞入門展「わくわくアートツアー」は、教員と学芸員の協働により、ガイドブックとミッションに答えるカードを制作し、子どもたちの鑑賞教育に資する内容とした。

4 博物館事業

展示事業としては、館蔵品展「未来へつなぐ高岡のお宝一新収蔵品を中心に一」（4月～5月）を開催し、近年の収蔵資料や、日ごろ公開の機会が少ない資料を紹介した。

企画展「むかしの人はどんな道具を使っていたの？」（4月～10月）では、当館収蔵の民具を展示・紹介した。常設展「高岡ものがたり」（通年開催）では、高岡の歴史・民俗・伝統産業の分かりやすい紹介に努め、団体見学への展示解説等を行った。また、「常設展・お宝コーナー」では、「2014年！干支づくし」（4月～5月）、「高岡産業博覧会ポスター展」（6月～11月）、「高岡の引札」（12月～）を開催した。

特別展「夢はこぶ“かがやき” 一軌道117年のあゆみ一」（7月～10月）では、平成27年3月の北陸新幹線開業を記念し、高岡市の鉄道に関する資料を展示・紹介し、会期中には特別展講演会も開催した。

館蔵品展「高岡捺染の祖・笹原文次資料展」（2月～）では、当館収蔵の近代高岡捺染の創始者・笹原文次関係資料を中心に展示・紹介した。

教育普及事業としては、外部講師による郷土学習講座「前田利長ゆかりの人々」（4回）や、館職員によるショートレクチャー「おもしろ講座・高岡のみじかい話」（12回）や古文書講座（6回）を開催した。また、呈茶の会「松聲庵 一博物館で抹茶を楽しみませんか」（2回）、桜の時期に合わせた屋上開放「古城公園展望台」、児童生徒を対象とした「博物館の仕事って何だろう？ 一きみも今日から“学芸員”一」、ワークショップ「きみもチャレンジ！青貝塗マイ箸」を開催した。そのほか、講師・委員の派遣協力も行った。

資料収集・保存活動では、高岡の歴史・民俗・伝統産業にかかる資料の収集・保存に努めた。調査研究活動では、日ごろ博物館に寄贈される資料の調査・整理に取り組んだ。また、これまでに調査が終了した資料台帳の内容を精査し、当館収蔵資料

情報のデジタル化を進め、521件の資料情報を公開した。

また平成25年度より進めている「佐渡家資料調査事業」では、高岡町医「佐渡家」に伝わる資料3,700件余(古文書・歴史資料、図書資料、民具、美術資料)の概要調査並びに目録原稿作成・編集を行い、『佐渡家資料目録』を出版した。

5 市民会館事業

4月に開催した「ラ・フォル・ジュルネ金沢2014『熱狂の日』音楽祭 in 高岡」は、「プラハ・ウィーン・ブダペスト～三都物語～」をテーマに、国宝の瑞龍寺ほか市内各所で3度のコンサートを行った。

11月には「歌曲とオペラ・アリアの夕べ」と題し、昨年度大好評を博したオペラ「滝の白糸」に出演した中嶋彰子(ソプラノ)、森雅史(バス、高岡市出身)らを迎え、トークを交えた多彩な内容で好評を得た。

12月の「オーケストラ・アンサンブル金沢定期公演 クリスマス・ガラコンサート」では、指揮者に金聖響を、ソリストに富山ゆかりの音楽家たちを迎え、会場を華やかに盛り上げた。

未来へ繋ぐ教育普及事業として、市内小学校長会の協力のもと、6月に市内小学校4年生全児童1,601人を対象とした「10才のファーストコンサート」を、10月には市内小学校6年生1,553人を対象とした劇団四季「こころの劇場」を開催した。

また、一般財団法人地域創造の助成を受け、子ども達に身体表現の面白さを伝え、個々の表現活動をより豊かなものとするべく、昨年度より2ヵ年計画でスタートした「キッズ・パフォーマンス TAKAOKA」プロジェクトに取り組み、ダンサーの近藤良平氏(コンドルズ)を演出・構成に迎え、10月には集大成となる「キッズ・パフォーマンス TAKAOKA-SHINKA2014-」舞台公演を行った。

「ホール活性化特別事業」では、6月に「東京スカパラダイスオーケストラ25周年記念ホールツアー2014 “SKA ME CRAZY” 高岡公演」、7月に「コンドルズ日本縦断大進撃ツアー2014 “GIGANT”」、11月に「Prince of piano ユンディ・リ ピアノリサイタル」、「イルカほのぼのコンサート We Love You Planet !～ひびけ!惑星に。」と、大規模公演を誘致し、新しい来館者層の開拓やホールのイメージアップ、稼働率の向上を図った。

「ホール活性化事業」では、市民会館ホールサポーターの会「パープル」が主体となり、サロンコンサートを実施し(10回)、26年度末で168回を数えた。また、市民の力を結集し、3月に北陸新幹線開業記念として「第3回みんなで歌おう高岡第九」公演を開催した。約240人の市民合唱団と約80人の市民オーケストラが、歓喜のステージを披露し多くの来場者に感動を届けた。

なお、市民会館ホールにおける公益目的事業の利用は、会館自主事業、サロンコンサート等で68回、入場者数17,506人であった。また、一般へのホール貸与(収益目的事業等)は、吹奏楽の演奏会等で105回、入場者数62,676人であった。

6 青年の家事業

地域社会における人々の多様な学習活動を支援するため、「青年の家文化教室」・「現代教養講座」・「若者交流支援事業」を実施した。

「青年の家文化教室」では、華道、茶道、着付け、ペン習字、ビューティエクササイズ、ヴィオラ・大正琴、布小物の10教室を実施した。「現代教養講座」では、初心者を対象に韓国語と中国語の教室を、外国人講師を迎えて開講した。「若者交流支援事業」では、要望の多いゴルフ教室を開催し若者の交流を図った。

なお、青年の家における公益目的事業の利用は、文化教室で105回、利用人数858人であった。諸室の一般への貸与（収益目的事業）は、1,967回、利用人数18,294人であった。

○青年の家耐震化改修工事（完工：平成27年2月27日）

7 ミュゼふくおかカメラ館事業

企画写真展示事業では春と夏に写真展2本を開催した。春には「ゆる鉄」等の新しい鉄道写真のジャンルを生み出した鉄道写真家・中井精也の作品と活動を紹介した。夏には1950年代後半から今日にいたるまで、日本写真界の最前線を走り続ける篠山紀信による写真展を開催した。1万2千人余りの来館者が大迫力の写真を体感した。

企画事業—カメラと写真+α—では、新進気鋭写真家の亀山亮（第32回土門拳賞受賞）と田附勝（第37回木村伊兵衛写真賞受賞）の作品と活動を紹介した。

カメラ常設展示では、カメラ館が収蔵するカメラをファインダー型式ごとにわかりやすく紹介する「ファインダーにみるカメラ機能と美」と、寄贈されたクラシックカメラを展示する「デビュー！NEWコレクション!!」を開催し、クラシックカメラの魅力を伝えている。

資料整備事業では、職員とカメラ整理ボランティアとの協働で収蔵資料の整理・データ化を昨年度から継続し実施している。

教育普及事業では、写真家のトークショーや写真展関連イベント、館長の写真教室、フォトコンテスト審査派遣、「ニッコールフォトコンテスト写真展」「ワンダーフォト写真展」を実施した。

新たな試みとしてAAA（トリプルエー）と銘打ち、県内の写真家の活動を紹介するため、26年度は安念代志子の写真展を実施した。

8 動物園事業

動物の飼育展示のほか、「ふれあい広場」、動物園まつり、特別展、動物園だよりの発刊等の事業を実施した。

「ふれあい広場」は、ウサギやテンジクネズミ等の小動物に直接触れることができるもので、来園者から好評を得ている。

レクリエーション施設としての機能はもちろんのこと、情操教育の場として動物愛護の啓発や情報発信、種の保存に努めた。

9 二上まなび交流館事業

主催事業として、二上山の自然に触れる「二上山を楽しもう」を春、秋、冬に実施したほか、野外料理を満喫する「野外料理を楽しもう」や、小学3年生を対象とした「Let's Stay 二上」など、多彩な事業を行った。

県委託事業として、異年齢生活体験推進事業「夏合宿(小学4～6年生対象)」「なかよし合宿(小学1～3年生対象)」を実施し、異年齢児童による共同宿泊体験事業を行った。

通年のクラブ活動事業として「まなびっこクラブ」を開講し、ペン習字、茶道、箏、科学工作、パソコン、卓球の6クラブを実施した。技能の向上と共にクラブ員同士の友情を深めた。

「高岡市児童アイデア工作展・高岡市未来の科学の夢絵画展」を9月にウイング・ウイング高岡1階交流スペースで開催した。応募作品はそれぞれ205点と128点で、優秀作35点と20点を、「富山県発明とくふう展・富山県未来の科学の夢絵画展」に出品した。

10月には、当館に事務局を有する外部団体(高岡市児童クラブ連合会、ボーイスカウト高岡地区協議会、ガールスカウト高岡地区協議会)と共同で「まなびっこフェスティバル」を開催し、800人を超える来場者があった。

この他、宿泊学習や親子活動などの学校教育団体、クラブ合宿やボーイスカウト、ガールスカウト活動などの社会教育団体、職員研修などの企業団体等、多くの方々に様々な体験活動の場を提供した。

なお、まなび交流館における公益目的事業の利用は、主催事業や小・中学校宿泊学習、スポーツ少年団活動など292回で、利用人数は14,977人であった。一方、収益目的事業の利用は、研修室等の一般への貸与など65回で、利用人数は1,118人であった。

Ⅲ 評議員会に関する事項

1 審議内容

- (1) 第5回評議員会 平成26年5月30日開催
- | | | |
|-------|-----------------|----|
| 報告第1号 | 平成25年度事業報告について | 承認 |
| 議案第1号 | 平成25年度決算の承認について | 可決 |
| 議案第2号 | 理事の選任について | 可決 |
- (2) 第6回評議員会 平成26年6月23日開催（書面によるみなし決議）
- | | | |
|-------|-----------|----|
| 議案第3号 | 理事の選任について | 可決 |
|-------|-----------|----|
- (3) 第7回評議員会 平成27年3月19日開催（書面によるみなし決議）
- | | | |
|-------|-----------|----|
| 議案第4号 | 理事の選任について | 可決 |
|-------|-----------|----|

Ⅳ 理事会に関する事項

1 審議内容

- (1) 第12回理事会 平成26年5月16日開催
- | | | |
|-------|-------------------|----|
| 議案第1号 | 平成25年度事業報告の承認について | 可決 |
| 議案第2号 | 平成25年度決算の承認について | 可決 |
| 議案第3号 | 第5回評議員会の招集について | 可決 |
- (2) 第13回理事会 平成26年5月30日開催（書面によるみなし決議）
- | | | |
|-------|---------------------|----|
| 議案第4号 | 理事長（代表理事）の選定について | 可決 |
| 議案第5号 | 副理事長（代表理事）の選定について | 可決 |
| 議案第6号 | 専務理事（業務執行理事）の選定について | 可決 |
- (3) 第14回理事会 平成26年6月13日開催（書面によるみなし決議）
- | | | |
|-------|-------------------|----|
| 議案第7号 | 第6回評議員会への議案提出について | 可決 |
|-------|-------------------|----|
- (4) 第15回理事会 平成26年10月30日開催
- | | | |
|-------|-------------------------|----|
| 報告第1号 | 平成26年度上半期に係る事業の執行状況について | 承認 |
| 議案第8号 | 平成26年度補正予算（第1号）の承認について | 可決 |
- (5) 第16回理事会 平成26年12月17日開催（書面によるみなし決議）
- | | | |
|-------|------------------------|----|
| 議案第9号 | 平成26年度補正予算（第2号）の承認について | 可決 |
|-------|------------------------|----|
- (6) 第17回理事会 平成27年3月12日開催（書面によるみなし決議）
- | | | |
|--------|-------------------|----|
| 議案第10号 | 第7回評議員会への議案提出について | 可決 |
|--------|-------------------|----|

(7) 第18回理事会	平成27年3月20日開催	
議案第11号	平成26年度補正予算（第3号）の承認について	可決
議案第12号	平成27年度事業計画の承認について	可決
議案第13号	平成27年度予算の承認について	可決

※ 第19回理事会	平成27年4月1日開催（書面によるみなし決議）	可決
議案第1号	専務理事（業務執行理事）の選定について	

2 理事及び監事の異動状況

(1) 平成26年5月30日	理事	榊原 仁麿	就任（再）	
	理事	坂本 信幸	就任（再）	
	理事	高橋 正樹	就任（再）	
	理事	武山 良三	就任（新）	
	理事	辻 やす子	就任（再）	
	理事	永田 義邦	就任（再）	
	理事	氷見 哲正	就任（再）	
	理事	細呂木六良	就任（再）	
	理事	蓑 厚行	就任（新）	
	理事	村上 隆	就任（新）	
		理事長	高橋 正樹	就任
		副理事長	氷見 哲正	就任
		専務理事	榊原 仁麿	就任
(2) 平成26年6月23日	理事	青木 誠	就任	
(3) 平成27年3月31日	専務理事	榊原 仁麿	辞任	